

原点回帰

古墳祭

ムリテ大刀舞
(ムリテ：木部礼一さん)

8月1日(水)、2日(木)和水町江田船山古墳公園一帯で、第42回和水町古墳祭を開催しました。今年の古墳祭は、「原点回帰」をテーマに、これまでと大幅に演出内容を変更し、「歴史」と「炎」にこだわった様々な催しを行いました。

変更点1 国宝「銀象嵌銘大刀」に刻まれた75文字に基づき、江田船山古墳に埋葬されたと推察される地方豪族「ムリテ」を主人公とし、古墳時代を再現した「創作舞台」を演出

変更点2 ヒロイン卑弥呼を「火巫女」に改名し、神火と祈りによってムリテを甦らせる重要な役割

変更点3 松明行列に加え、大松明回し、火振り、竹灯りなど、火祭りにふさわしい「炎」の演出

神事では、火巫女の祈りが江田船山古墳に捧げられると、ムリテが永い眠りから甦り、総勢800人の松明行列を率いて、菊水ロマン館裏のメインステージを目指しました。

また、メインステージ上では久井原神楽や浦安の舞を行い、松明行列の入場と共に「創作舞台」がスタート。

闇夜に幻想的に浮かび上がる松明の炎の連なりを背景に、ステージ上では、「奉納の舞」・「古墳踊り」・「火巫女の舞」などの優美な舞踊をはじめ、なごみ数え唄にのせた「鎌踊り」、勇壮な「ムリテ大刀舞」を行いました。

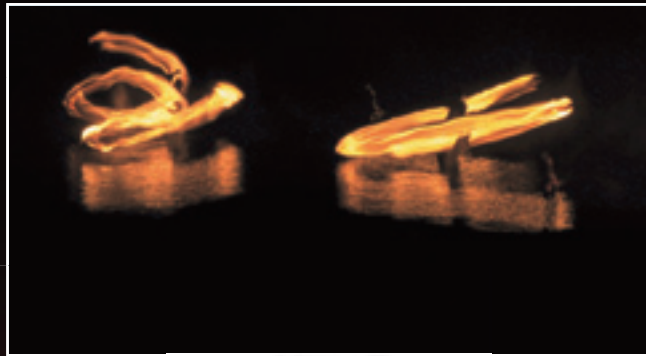
そして、クライマックス「蘇り絆の儀」では、ムリテと百済王が永遠の絆を誓い剣を高く掲げ交わすと、弓火が放たれ、大松明に二斉に点火。江田川水辺では火振りをを行い、会場内は燃え盛る炎で照らされました。ファイナーレの花火大会では、2千発もの花火を打ち上げ、大輪の花が夏の夜空を彩りました。

商工会青年部による「フレンドパーク」では、ダンスイベント、腕相撲大会、くまモン○×クイズなど、盛りだくさんのステージで大いに賑わいました。

また、1日には、肥後民家村野外ステージでは、宮崎駿監督のアニメの主題歌等でおなじみの木村弓(きむらゆみ)さんをお招きしての、「古墳祭ライブinなごみ」を行い、その優しい歌声と美しい竖琴の音色にしばし酔いしました。



火巫女からの神火 (才28代 火巫女：笹淵葉月さん)



火振りの儀



火巫女の舞



火巫女の祈り



大松明の儀



鎌踊り (なごみ数え唄)



降臨の儀 (甦ったムリテ)



蘇り絆の儀



弓火の儀